

株式会社セーフティネット

2020年度 健康経営 Well-beingレポート

発行日 2021年 7月

EAP企業の健康経営

ハイライト:

- 社内外での「健康経営」の取り組みを継続することによりブライツ500に認定されました。
- テレワーク中に参加可能なオンラインセミナーを導入し、新しい行動様式に対応できる体制を整えました。
- 特定保健指導初回面談を100%実施し、社員に運動機会の増加や食生活の改善など、行動変容がみられました。

理念 & メッセージ

株式会社セーフティネットは創業以来、メンタルヘルス不調の解決や予防を通じ、仕事に集中できる世の中づくりに貢献して参りました。私たちはその企業活動の中で、『はたらくによりそう』という理念を大切にしています。真の意味で『はたらくによりそう』ためには、私たちに関わるあらゆる人々の心身の健康的な生活に貢献するのはもちろんのこと、私たち自身が従業員ひとりひとりの個性や能力を最大限に発揮できる企業である必要があります。そこで重要になるのが健康経営の考え方です。21世紀に入り、企業には、ただ単に利益の拡大を目指すことではなく、持続可能性に配慮し、

社会貢献に取り組むことが求められるようになってきました。このような流れの中で、従業員の健康保持や増進は「費用」ではなく「投資」であるという考え方が広まり、これこそが健康経営の根幹部分となっています。私たちはこれからも真の意味で『はたらくによりそう』企業であり続けるために、健康経営を実践し、ステークホルダーに認められる会社を目指して参ります。



代表取締役社長 新村達也
健康経営エキスパートアドバイザー

目次:

2020年度まとめ	2
主な取り組みと成果 1	2
主な取り組みと成果 2-4	3
2020年度に実施したこと	4
2021年度の取り組み	4
健康宣言と組織体制	5
会社概要	5

健康経営優良法人2021 ブライツ500に 認定

2021年3月に「健康経営優良法人2021(中小規模法人部門(ブライツ500))」に認定されました。大規模法人部門ホワイト500の中小規模法人向けに新設された「ブライツ500」は、初年度となる今年、全国約7,933の中小規模法人部門認定企業の中から上位500法人が認定されました。ブライツ500の認定は、健康経営の取り組み状況の審査及び、「健康経営」普及活動が評価の対象となっています。セーフティネットは、EAP企業として培っ

てきた経験と知見をもとに、「健康経営」を導入する企業のサポート、および、健康経営の取り組みで得られる企業の持続的成長に寄与するべく、啓蒙活動を行っています。



2020年度 まとめ

本格的な健康経営活動の2年目となる2020年は、コロナウイルスの蔓延に伴う生活様式の変化を機に、健康経営計画の大幅な見直しを行いました。

コミュニケーション活動や運動促進イベント、対面研修などは、社員が自宅から参加できるように、従来の対面方式からオンライン方式への切り替えを実施しました。

従来の生活様式から、新しい常態(ニューノーマル)へと切り替わるなかで、2020年4月には、テレワークを導入しました。社員のメンタル不調や、運動不足が懸念されましたが、不要となった通勤時間を近所でのウォーキングやランニングに充てる社員が増えるなど、プラスの側面もみられました。

これら社員による自発的な運動への取り組みは、オンライン朝礼時の一言コーナー「Good & News」において社員間で共有され、社全体での運動への意識の促進につながっています。また、オンライン研修の導入にあたっては、在宅勤務者がオンタイムで参加できるだけでなく、録画した動画を共有できるようにし、当日参加できない社員が後日研修の受講をできるようにしました。この結果、研修受講率が上昇しました。

今年度からは、「おうち時間」が増加したことで

心配される社員の健康状態の改善施策として、新たな取り組みを始めています。一例として、「健診結果後の特定保健指導」の面談予約、場所の確保を総務部で代行し、保健指導実施率向上を図りました。これにより、保健指導対象となった社員の食生活、運動機会増進、健康への取り組みをサポートしています。

セーフティネットは、「世界幸福度ランキング(国連)」に使用されるギャラップ社の「ウェルビーイングを構成する5つの定義」を取り入れ、社員が健康で、いきいきと働ける環境づくりを目指して活動を推進しています



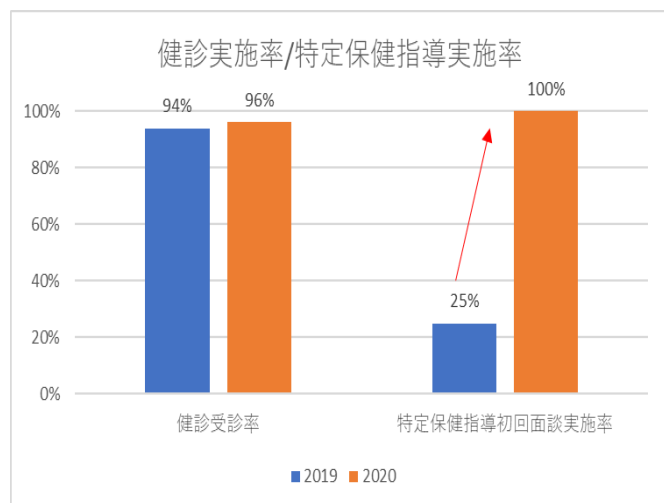
主な取り組みと成果

1) 特定保健指導実施率

健康診断受診勧奨を年2回実施し、定期健康診断受診率向上に取り組んでいます。さらに、重症化予防のために、特定保健指導の面談予約サポートにより初回面談実施率が改善されました。



社内ポスター啓発



2) ストレスチェック健康リスク値

2019年より、全社員を対象にストレスチェックを実施しています。集団分析結果に基づき、所属長は「はたらきやすい職場づくり」に努め、「総合健康リスク値」の改善をしました。WEB受検後、すぐにストレスチェックの個人結果を確認できることは、メンタルヘルス不調の予防(一次予防)が可能になりました。



総合健康リスク値

	2019年	2020年
全社	81	80
A部門	96	88.5
B部門	60	80
C部門	69	66
D部門	58	62

150以上 早急な改善が必要
120-149 改善が必要
100-119 全国平均: 100

2019/2020ストレスチェック結果より

3) 運動機会の増進

テレワークの導入により、在宅時に無理な体勢でVDT作業をする社員が増えたことで、腰や首への負担が懸念されました。コロナ禍で対面集合による運動機会が制限されるなか、新たな運動機会の提供と、VDT作業姿勢の注意点を学ぶ機会となるオンラインストレッチセミナーを行いました。テレワーク中でも参加できることから好評でした。



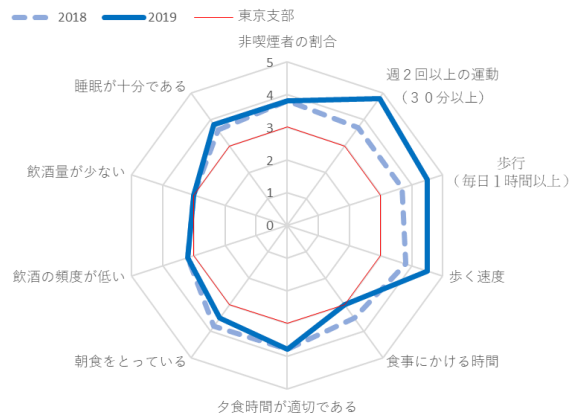
コロナ禍以前 ポーリング大会



コロナ禍 オンラインストレッチセミナー

4) 生活習慣の変化

2019年は、健康宣言初年度でした。生活習慣アンケート結果より、「週2回以上の運動」「毎日1時間以上の歩行」「歩く速度」の3項目で、前年度(2018年)に比べて、著しい改善がみられました。運動に取り組む意識が醸成されていることが、わかります。



2018/2019生活習慣問診結果より

2020年度に実施したこと

心の健康づくり

- ・ストレスチェックの実施(8月)
- ・「セルフケア研修」(9月)
- ・「ラインケア研修」(11月)
- ・「ハラスメント研修」(9月)

身体健康づくり

- ・定期健診受診勧奨年2回(4月/12月)
- ・運動研修「オンラインストレッチ研修」(10月)
- ・感染症対策「ワクチンと免疫の基礎知識研修」(3月)

その他

- ・テレワークを導入(4月)
- ・対面朝礼をオンライン朝礼に切り替え
- ・ホームページに「健康経営の取り組み」メニューを追加
- ・社外企業、団体への健康経営の啓蒙活動

2021年度 の取り組み

禁煙・受動喫煙アンケート実施と、禁煙プログラム導入

女性専用相談窓口(からだところの健康相談)開設

健康経営アドバイザー受検 推奨

健康経営シンポジウム参加

運動促進イベント「歩数グランプリ」実施

感染症予防 ワクチン接種特別休暇

感染症予防 インフルエンザワクチン接種補助

健康経営投資管理会計ガイドラインに沿った健康投資の見える化始動

健康宣言

<健康宣言>

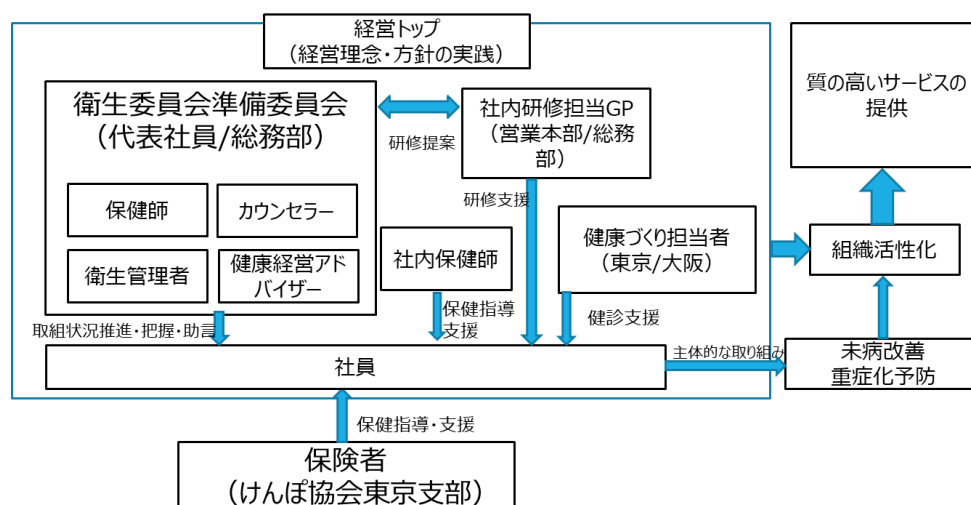
セーフティネットは「EAP(Employee Assistance Program)企業」として、私たちに関わるあらゆる人々の心身の健康的な生活に貢献するとともに、社員ひとりひとりの個性や能力を最大限に発揮できるよう、積極的に健康維持・増進に取り組んでいきます。

*恒久的な「健康宣言」と年度ごとに見直し可能な「重点方針」により、健康目標を明確にしています

<重点方針>

- 1) 社員のヘルスリテラシー向上に努め、日常生活におけるヘルスケア、疾病予防、セルフプロモーションができる企業風土を醸成します。
- 2) 高血圧や脂質異常症などを中心とした重症化予防、及び未病対策に取り組めます。
- 3) 社員が活き活きと明るく働くことができる、安全で快適な職場環境づくりを実現します。

組織体制



会社概要

株式会社セーフティネット
東京本社
〒100-8228
東京都千代田区大手町2-6-2
電話 03-6832-3130(代表)
Fax 03-6832-3160

大阪支店
〒541-0059
大阪市中央区博労町3-5-1
電話 06-6258-0090

私たちは、“「はたらく」に寄りそう”をミッションに
メンタルヘルスケアを通して離職を防ぐ専門家集団です
By your side for work

safetyNET

<https://www.safetynet.co.jp>